

2022年度埼玉県立高校入試問題分析_社会

問5 Fさんは、熊本市の「日本一の地下水都市」の取り組みについて調べ、まとめました。次のまとめ2は、その一部です。まとめ2の中の **A** には、地下水の量を守るための取り組みとその効果についての説明があてはまり、**a** には、地下水の量を守るための取り組みの効果を示すグラフがあてはまります。まとめ2の **a** のグラフとして最も適切なものを、あとのア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。また、まとめ2の **A** にあてはまる適切なことばを書きなさい。(5点)

まとめ2

<探究課題>

持続可能な社会を実現するために私たちはどのように行動すべきか。

～熊本市の「日本一の地下水都市」の取り組み～

<課題設定理由>

熊本市は、約74万人の市民の水道水源をすべて地下水でまかっています。これを継続していくための取り組みは、持続可能な社会を実現するための私たちの行動の参考になると考えたからです。

<探究内容>

1 「日本一の地下水都市」の現状と課題

地下水位の低下や水質の悪化がみられており、市民の生活用の水使用量に必要な地下水を確保する必要があります。

2 地下水保全の取り組み

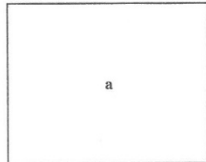
(1) 地下水の量を守るための2つの取り組みとそれぞれの効果

- ① 収穫後の田畑に水をはるなどによって、地下水かん養量が増えています。
- ② 資料2とグラフ3から、**A** ということが読みとれます。

資料2



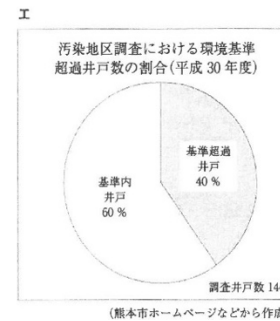
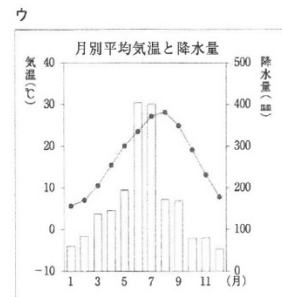
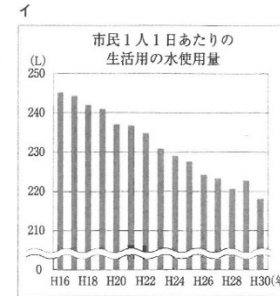
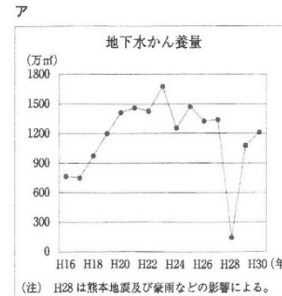
グラフ3



(2) 地下水の質を守るための取り組み

地下水質の監視、地下水の汚染防止対策などを行うことで、汚染物質を地下に浸透させないようにしています。

(注) 地下水かん養量…雨水などが土中にしみこみ、地下水として蓄えられる量のこと。



2022年度埼玉県立入試～社会～

出題形式に大きな変更はなかったものの、

- ・教科書改訂を受けた内容が所々で出題
- ・近年の流行【SDGs】に関する内容が出題されていました！

地理分野においても「会話穴埋め型」の問いが出題され、【自分の言葉で答えさせる】形式が増えました。

三分野融合型の問題では、SDGsに関する問いが増え、その問いも今までにはない形式で、【資料を基に適切なグラフを選択させる】ものとなっていました。

このように「暗記教科からの脱却」が進められている試験となっていたと言えます。